

ちょっといい話

僕は、生き切るとい言葉が好きです。自分の気持ちをはっきりさせたら、飛び込む。さんざん泣くことになるだろうけれど、大志が熱を帯びて人に伝わる日を信じます。打算ではなく、自分らしい真剣勝負で進んでいきたい。(海洋冒険家・白石康次郎さん)

芝居のせりふにも教えがあります。「花の司の牡丹でさえも 冬は菰着て 春を待つ」。易しく言うなら、あんなに素晴らしい花を咲かせるボタンの木も冬には枯れ、みすばらしいむしろをまとめて春の訪れをじっと待っている。辛抱して精進すれば、いつか良い日が来るという意味です。(俳優・梅沢富美男さん)

今年の品川区は…「子育て・待機児童」「防災」「教育」などの充実を

2017年最初の発行です。今年もご愛読をよろしくお願いします。

28年度は3月で終わり、4月から新年度が始まりますが、品川区の予算づけがどのような配になるのか気になるところです。発表まで1月くらいでしょうか。今号では、昨年の議会を振り返ってみたいと思います。

定例会4回で、私も含め延べ35名が本会議の質

問に立ち、172項目が議論されました。どのようなことが取り上げられたのでしょうか。質問の項目数から拾ってみると、

**子育て・待機児童18 防災対策17
教育・いじめ16 高齢者11 観光10
羽田空港9 障がい児者7 オリンピック・パラリンピック7**
私なりのカウントですが、傾向性はわかります。気になった内容を紹介しします。

【待機児童】

◎**保育園定員拡大**…計画では「平成28年度854人、29年度566人、30年度551人、31年度339人」と発表されました。その後、申込数が増加傾向にあることから、29年度は1,044人を予定しています。これでゼロになる見込みでしたが、「乳幼児人口が23区で2番目に増加する状況にあり、29年4月の待機児童は90人程度と見込んでいる」。

◎**保育園3歳児**…認証保育所などは3歳で卒園となり、卒園後の受け入れ先の問題があります。「認証保育所等の卒園は294人で、このうち認可保育園申し込みは約150人と推計。来年4月の3歳児定員は280人分あるので、保護者の就労継続は可能と考えている」。



【防災対策】

◎**消火機能向上**…昨年末、糸魚川市で発生した大規模延焼火災は、改めて木造住宅密集地域の火災の恐ろしさを目の当たりにしました。「スタンドパイプの配備等、地域の初期消火体制の強化を進めている。街かど消火栓については、防災区民組織育成助成金等を活用するよう町会にお願いをしている」。街かど消火栓とは、水道蛇口から直接放水でき、軽量・取扱いが簡単な器材で、消火能力に優れているといわれています。



◎**無電柱化**…「課題となっている狭い道路への無電柱化の方策について、国や都が進める技術的な検討の動向を注視する」。戸越銀座商店街等で進められていますが、学校避難所周辺などの道路閉塞の防止も。

◎**Wi-Fi環境**…「区立公園等への増設など防災面における通信環境の充実を図る」。

【教育】

◎**高校入学の負担**…『子どもの未来応援プロジェクト』検討委員会において、低所得世帯への支援のあり方を検討する。

◎**先生の意識**…「自分たちの地域にある学校を、より特色ある教育活動の展開、信頼できるものにするか、いわば地域プライド、地域に根差した教員の意識をつくっていくことが重要」。

【高齢者】

◎**仕事**…「品川区シルバー人材センターの入会率は、60歳以上高齢者人口比で2.6%。全国平均1.8%、東京都平均2.3%である。会員数の伸び悩みは、高齢者雇用安定法による継続雇用やライフスタイルの多様化によるもの」。

◎**住民による支え合い**…「通所型サービスは、大崎ゆうゆうプラザで3名のボランティアが脳のトレーニング等のプログラムを提供。訪問型サービスは、社会福祉協議会有償ボランティアが家事援助サービスを提供。これらのモデル事業を検証し、住民主体の仕組みを構築していく」。

【障がい児者】

◎**高齢障がい者の介護**…「65歳になる前から介護保険のケアマネージャーと一緒にサービスについて調整を図っている。具体的な事例を重ねる中で『本人支援』の視点に立ったケアマネジメント力の向上をめざす」。

◎**インクルージョン社会**…全ての人を包み支え合う、といった意味です。「障害のある方と身近な地域で交流が持てるような事業についても検討する」。

◎**医療的ケアが必要な障がい児**…「都補助制度があるが、区運営補助を追加した。場所の確保が難しく調整中。保育の対応は疾患・障がい児の居宅に訪問事業を実施している」。



ワシながわ ククワクわ ククワクわ 新聞 第126号

発行日：
平成29年1月15日(日)
発行者：
若林ひろき 品川区議会議員
ブログ：
<http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/>



しながわ防災体験館
実際に見て・触って学習できます。ぜひお立ち寄りください。
※入館無料 ●どんな体験ができるの? 消火器・スタンドパイプなど実際の設備を使った初期消火体験、訓練用の人形を使った心肺蘇生法・AED使用法の応急救護体験など
【場所】品川区防災センター2階(品川区役所隣接)
【問合せ】☎5742-9098

私の本棚

「論語」

(金谷治/岩波文庫 その1)

前号までの中で、「正しい考え方を身に付けるには、長い間多くの人が「正しい」としてきた考え方を、古典から学ぶ」ことが強調されました。「論語」は孔子を中心とする言行録で、古典の中の古典とも言えます。二千年以上も前のものが何故多くの人に読まれてきたか、金谷治氏は「いつまでも人の共感をよび、新しい歴史の進展をうながすような、そうした不滅の古典としての価値があるからにほかならない。じつくりと味わってみましょう」。

子の曰わく、学びて時にこれを習う、亦た説ばしからずや。朋あり、遠方より来たる、亦た樂しからずや。人知らずしてうらみず、亦た君子ならずや。

先生がいわれた「学んでは適当な時期におさらいをする、いかに心嬉しいことだね(そのたびに理解が深まって向上していくのだから)だれか友だちが遠い所から来たはずね、来て、いかに楽しんでいることだね。(同じ道について語りあえるから)人が分かってくれなくとも気にかけない、いかに君子だね。(凡人にはできないことだから) (つづく)